

工場の変遷とめざすもの



創業当初(1968~1983)

環境破壊や防災意識が高まるのに合わせ、有明生コン(株)グループでは「高炉スラグ」や「フライアッシュ」の活用による環境負荷低減、国土強靱化にむけて「高強度コンクリート」への対応に力を入れていきます

時代とともに移り行くニーズに合わせて有明生コン(株)グループも姿を変え世の中の発展に貢献していきます



発展期(1984~2005)



※ 熊本城災害復旧現場にて



現在(2006~)

会社紹介

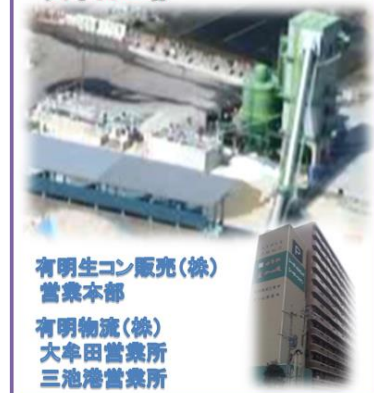
有明生コン(株)グループ

Since 1962

- 有明生コンクリート株式会社
- 肥後生コンクリート株式会社
- アサノ有明生コン株式会社
- 南九州コンクリート株式会社
- 高松砕石株式会社



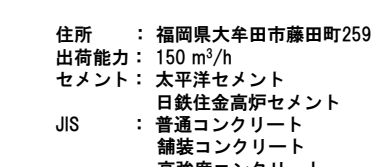
高松砕石(株) 三加和採取場



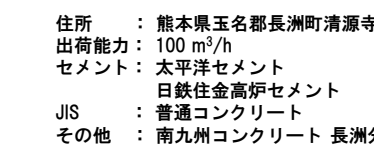
有明生コンクリート(株) 大牟田工場



有明生コン販売(株) 営業本部



有明生コンクリート(株) 長洲工場



南九州コンクリート(株) 八代工場

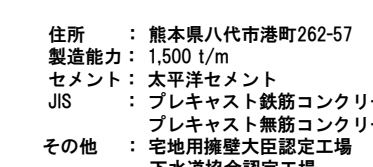
有明生コン(株) グループ工場配置図



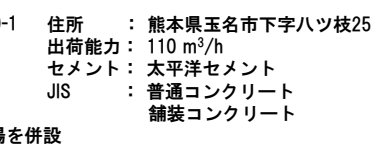
南九州コンクリート(株) 八代工場



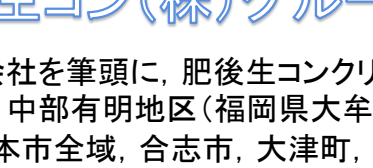
肥後生コンクリート(株) 玉名生コンセンター



アサノ有明生コン(株) 北部工場



アサノ有明生コン(株) 本社工場



肥後生コンクリート(株) 玉名生コンセンター



アサノ有明生コン(株) 北部工場



アサノ有明生コン(株) 本社工場



有明生コンクリート 大牟田工場

住所 : 福岡県大牟田市藤田町259
 出荷能力 : 150 m³/h
 セメント : 太平洋セメント
 JIS : 普通コンクリート
 舗装コンクリート
 高強度コンクリート

南九州コンクリート 八代本社工場

住所 : 熊本県八代市港町262-57
 製造能力 : 1,500 t/m
 セメント : 太平洋セメント
 JIS : プレキャスト鉄筋コンクリート製品
 プレキャスト無筋コンクリート製品
 その他 : 宅地用擁壁大臣認定工場
 下水道協会認定工場

アサノ有明生コン 北部工場

住所 : 熊本県熊本市北区四方寄762
 出荷能力 : 120 m³/h
 セメント : 太平洋セメント
 JIS : 普通コンクリート
 軽量コンクリート
 その他 : フライアッシュ混和剤使用可

有明生コンクリート 長洲工場

住所 : 熊本県玉名郡長洲町清源寺3279-1
 出荷能力 : 100 m³/h
 セメント : 太平洋セメント
 JIS : 普通コンクリート
 その他 : 南九州コンクリート 長洲分工場を併設

肥後生コンクリート 玉名生コンセンター

住所 : 熊本県玉名市下宇八ツ枝251-1
 出荷能力 : 110 m³/h
 セメント : 太平洋セメント
 JIS : 普通コンクリート
 舗装コンクリート

アサノ有明生コン 本社工場

住所 : 熊本県熊本市南区南高江3-55-1
 出荷能力 : 110 m³/h
 セメント : 太平洋セメント
 JIS : 普通コンクリート
 高強度コンクリート

有明生コン(株)グループとは

有明生コンクリート株式会社を筆頭に、肥後生コンクリート株式会社、アサノ有明生コン株式会社の3社5工場を、中部有明地区(福岡県大牟田市、熊本県荒尾市、玉名郡市)及び熊本市街地区(熊本市全域、合志市、大津町、菊陽町、西原村、益城町、嘉島町、甲佐町)にまたがり保有しています。

有明海沿岸部に約15kmおきに連続して工場を保有しており、互いに連携して出荷できることから、熊本県下においては最大級の生コンクリート供給能力を誇ります(最大1,200m³/日、車両総数:約50台)。

八代市と長洲町に二次製品製造業である南九州コンクリート株式会社を和永町に自家用砕石工場である高松砕石株式会社を保有し、それらの運搬を関連会社や親会社である有明商事株式会社及び有明物流株式会社で行う事で、コンクリート関連資材を安定的供給しています。

- 1899年 田畑理吉が下里町(現大牟田市)で「有明運輸店」(のちに有明組に改称)を創業
- 1931年 筑後縄かます(株)を有明組 店主 田畑守吉 が譲り受け、2年後に「有明商事(株)」と改称し、セメント製品や建設資材(砂利・砂・石灰石)等の販売を始める
- 1941年 有明組 八代採石所を開設し、球磨川にて砂利採取業を開始する
- 1952年 田主丸採取場(筑後川における砂利採取)を開設する
- 1953年 八代採石所を閉鎖する
- 1956年 田主丸採取場を閉鎖する
- 1962年 日本セメント直系工場として、「熊本コンクリート」(1980年代に「熊本アサノコンクリート」に改称、のちのアサノ有明生コン(株)本社工場)が熊本県最初の生コン工場として操業を開始する
- 1963年 デンカセメント系工場として、有明商事(株)が「軍配生コンクリート(株)」に出資し、電気化学工業大牟田工場内に軍配生コン 大牟田工場を建設、中部有明地区で最初の生コン工場となる
- 1965年 軍配生コン 玉名工場を玉名郡岱明町(現玉名市)に建設し、操業する
- 1966年 同 熊本工場(現 アサノ有明生コン 北部工場)を飽託郡北部町(現熊本市北区)に建設し、操業する
- 1967年 三井セメント系工場として、三井鉱山、三井物産と共同出資による「三交生コン」を設立、同工場を荒尾市大島に建設し、創業開始する
- 1968年 同 荒尾工場(現 大牟田工場)を福岡県大牟田市と熊本県荒尾市にまたがって建設し、操業する
- 1969年 日本セメント系の二次製品工場として、南九州コンクリート(株)が八代市で操業開始する
- 1970年 電気化学工業(株)大牟田工場のポルトランドセメント撤退に伴い、「軍配生コンクリート(株)」を「有明生コンクリート(株)」に改称し、三井セメントおよび小野田セメントに切り替える
- 1971年 大牟田工場を荒尾工場に集約し、荒尾工場を大牟田工場に改称する
- 1972年 日本セメント直系工場であった 玉名生コン の事業を継承し、熊本県玉名市築地に 和泉商事(株)との共同出資で「肥後生コンクリート(株)」を設立する
有明生コンクリート 長洲工場を玉名郡長洲町に建設して、操業開始する
- 1973年 小林砕石の跡地を買収し、熊本県玉名郡三加和町(現和水町)に「高松砕石(株)」を設立し、グループ生コン事業の自家用砕石場とする
コンクリート二次製品の製造販売を目的に「有明コンクリート工業(株)」を設立し、有明生コン 長洲工場横に同社工場(現 南九州コンクリート 長洲分工場)を建設、コンクリート擁壁や八木板、坑内鉄道用コンクリート枕木などを製造する
- 1982年 小野田セメント(株)(現 太平洋セメント(株))のセメント販売特約店となる
- 1996年 三交生コン および 有明コンクリート工業を解散する
- 2001年 有明生コンクリート 玉名工場と 肥後生コンクリート 本社工場を集約し、新たに肥後生コンクリート 玉名生コンセンター を建設し、玉名地区の生コンを集中出荷による効率化を実現する
- 2002年 「熊本アサノコンクリート(株)」を傘下に加え、「アサノ有明生コン(株)」に改称する
- 2005年 「南九州コンクリート(株)」を傘下に加え、コンクリート二次製品事業の再参入および増強を行う
- 2009年 グループ本社ビルを建設し、本社所在地を現住所(福岡県大牟田不知火町2丁目5番地)に移す
- 2010年 市況悪化により、アサノ有明生コン 本社工場を一時的に休眠
- 2012年 市況回復により、同工場の営業を再開(普通コンクリートJISの再取得)
- 2013年 南九州コンクリート でフライアッシュ(JIS)を使用した新配合を開発、全製品に採用開始
- 2014年 アサノ有明生コン 本社工場 で 高強度コンクリートJIS を取得(熊本県で最初)
- 2015年 同 北部工場 で 軽量コンクリートJIS を取得
- 2016年 同 北部工場 で フライアッシュ(JIS) を混和材に使用した普通コンクリートを社内規格化
南九州コンクリート で 宅地用大臣認定擁壁 の工場認定を取得し、製造を開始
- 2017年 高松砕石 三加和採取場 で コンクリート用砕砂 の量産を開始
有明生コン 大牟田工場 で 高強度コンクリートJIS 取得(中部有明地区で最初)

グループ 本社(有明商事(株)内)アクセス

住所:
 福岡県大牟田市不知火町2-5-1
 (大牟田文化会館前)

お問合せ:
 TEL代:0944-57-3355
 FAX代:0944-57-3368
 E-MAIL: arinamahan@salsa.ocn.ne.jp

